

# 日 本 史

(問 題)

2018年度

〈H30123319〉

## 注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) 所定の欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

|         |                                     |                          |                          |
|---------|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| マークする時  | <input checked="" type="radio"/> 良い | <input type="radio"/> 悪い | <input type="radio"/> 悪い |
| マークを消す時 | <input type="radio"/> 良い            | <input type="radio"/> 悪い | <input type="radio"/> 悪い |

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

2017年7月、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の<sup>a</sup>世界文化遺産への登録が決定された。<sup>b</sup>沖ノ島は玄界灘に浮かぶ孤島で、ここでは4世紀後半～9世紀末の約500年間にわたり祭祀が行われてきた。沖ノ島での祭祀は時期によって岩の上や岩陰で行われたが、<sup>c</sup>古墳の副葬品とよく似た祭祀遺物が多く見つかった。これらの遺物は、「島で見聞きたことを口外してはならない」「一木一草一石たりとも持ち出してはならない」といった禁忌によって守られてきた。現在でも、神職や研究者など限られた者しか入島を許されていない。このように、奈良の<sup>e</sup>正倉院のように大切に伝えられてきたからこそ、沖ノ島は「海の正倉院」とも呼ばれるのである。

さて、沖ノ島の世界遺産登録にあたっては、申請されていた8つの構成資産のうち、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議（ICOMOS）が5月に、宗像大社<sup>おきつ</sup>沖津宮（沖ノ島と鳥居の役割を果たす島周辺の3つの岩礁）のみの登録を勧告していた。この時に除外された4資産は、九州本土にある宗像大社<sup>へつ</sup>辺津宮と新原・奴山古墳、本土と沖ノ島の間に位置する大島の宗像大社<sup>なかつ</sup>中津宮と沖津宮遥拝所である。

宗像大社は、沖津宮・中津宮・辺津宮の総称であり、沖津宮は<sup>たごりひめのかみ</sup>田心姫神、中津宮は<sup>たごつひめのかみ</sup>湍津姫神、辺津宮は<sup>いちきしまひめのかみ</sup>市杵島姫神という神をそれぞれまつている。これらの神は宗像三女神と呼ばれ、<sup>f</sup>『古事記』・『日本書紀』にも登場する。このことから、世界遺産登録にあたっては沖津宮・中津宮・辺津宮の一体性が強調された。

また、新原・奴山古墳の被葬者は、この地域を支配していた宗像氏の一族であると考えられている。沖ノ島の祭祀は、もともとは宗像氏が行っていたものであったが、4世紀後半から国家的な性格を持つようになった。また宗像三女神も、宗像氏がつまっていた神だったが、記紀神話においてアマテラスやスサノオと関係づけられ、航海に関わる国家的な神とされたと考えられている。このように宗像氏は、沖ノ島を考える上で重要な氏族なのである。さらに、沖ノ島の遺物の中に、<sup>g</sup>鉄鋌や金銅製品、西域系のカットグラス碗などが見られることも、<sup>h</sup>宗像氏と国家との関係を考える上で注目される。

以上のような各構成資産の関係性を説明することが、世界遺産登録にあたっての課題であったといえるだろう。

問1 下線部 a にあてはまらないものはどれか、1つ選べ。該当するものがない場合は、力をマークせよ。

ア 法隆寺      イ 毛越寺      ウ 石見銀山      エ 平城宮跡      オ 厳島神社

問2 下線部 b に関連して、沖ノ島は島そのものが信仰の対象となってきたが、同様に神が宿る自然物を祀り、本殿のない神社として正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 伊勢神宮      イ 宇佐神宮      ウ 大神神社      エ 太宰府天満宮      オ 日光東照宮

問3 下線部 c の時期の次のⅠ～Ⅳの出来事を古い順に並べたものとして、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 乙巳の変
- Ⅱ 『懷風藻』の成立
- Ⅲ 大伴金村の失脚
- Ⅳ 『内裏式』の編纂

ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ      イ Ⅰ→Ⅳ→Ⅲ→Ⅱ      ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ→Ⅳ  
エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ→Ⅳ      オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅳ      カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ→Ⅳ

問4 下線部 d について述べた文として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 古墳時代前期の古墳からは、須恵器がよく出土する。
- イ 古墳時代中期の古墳には、馬具が副葬されるようになる。
- ウ 古墳時代後期の古墳には、三角縁神獣鏡が副葬されるようになる。
- エ 終末期の古墳からは、銅鐸がよく出土する。
- オ 大仙陵古墳からは、「ワカタケル大王」の銘のある鉄剣が出土した。

問5 下線部 e について述べた文として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 倉の構造には、校倉造がみられる。
- イ シルクロードを経てもたらされた宝物がおさめられている。
- ウ 聖武天皇遺愛の品々がおさめられている。
- エ 百万塔が多くおさめられている。
- オ 正倉院文書には、写経事業に関連する文書が含まれている。

問6 下線部 f について述べた文として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『日本書紀』は、編年体で書かれている。
- イ 『日本書紀』は、元正天皇の時代に完成した。
- ウ 『日本書紀』の次の六国史は、『続日本紀』である。
- エ 『古事記』は、稗田阿礼が記憶していた伝承を太安万侶が筆録したものである。
- オ 『古事記』は、孝徳天皇までの天皇家の歴史を記す。

問7 下線部 g に関連して、鉄について述べた文として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 鉄鋌には権威の象徴としての意味があった。
- イ 朝鮮半島南部の伽耶地域は鉄資源が豊富だった。
- ウ 鉄資源をめぐる争いの中で、馬韓や辰韓においては統一国家の形成が促された。
- エ 荒神谷遺跡からは、大量の鉄剣が出土した。
- オ 弥生時代に、鉄製武器が朝鮮半島から流入した。

問8 上記の文章に基づき、下線部 h について考えられることを述べた文として、最も適切なものを1つ選べ。

- ア 宗像氏は、もともと沖津宮の神職の一族であったが、後に宗像地域全体を支配した。
- イ 宗像氏は、朝鮮半島諸国との関係を問題視され、ヤマト政権によって滅ばされた。
- ウ 宗像氏は、ヤマト政権の対外交流ルートの一部を委譲された。
- エ ヤマト政権は宗像氏が有していた対外交流ルートを掌握した。
- オ ヤマト政権は宗像氏を中心として形成された。

Ⅱ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

中世仏教の展開をたどると、政治・経済・文化にわたる多様な問題が浮き彫りになる。古代において、仏教は鎮護国家をつとめとし、国家的に大きな役割をもっていたが、その体制は中世になっても基本的に変わるどころがなかった。院政期における南都北嶺の強訴などは、そうした体制による政治への影響力をまざまざと示している。

a そもそも大寺院には、皇族・上級貴族の子弟が入り、世俗社会の秩序が反映されるのが常であった。たとえば、武家政権の出現に肯定的な叙述を残した 1 は九条家の出身で、天台座主をつとめた人物である。また、仏教が国家を守るものである以上、重要な寺院や仏像が破壊・破損を被れば、それを復活させることは国家的大事となった。こうした仏教は、国家的に「正統」な存在であったといえる。

鎌倉時代に入ってしまったらすると、こうした正統の仏教に対し、改革の動きが活発になる。これは、いわゆる旧仏教に対する新仏教として顕著であるが、正統の仏教の内部からも改革はみられることに留意すべきである。

一方では武士たちの帰依をうけた禅宗が広がりを見せ、室町時代には、さまざまな分野で大きな影響力をもった。なかでも五山は、幕府が京都に所在したこともあり、将軍や幕府要人と密接な関係を築いていた。こうしたところから、五山の僧侶は活躍の場が広がり、室町文化は禅宗色が強くなったともいえよう。

d 戦国時代には、新たな動きがみられるようになった。とりわけ、一向一揆が加賀国の守護を打倒し、100年にわたり自治を行って「2ノ持タル国」(『実悟記拾遺』)と称されたのは有名だが、一向宗を含め、広く支持を集めていたり、一方では弾圧されたりする宗派もあった。一向宗信者を統率する本願寺は反体制を旨としたわけではなかったが、織田信長との対決に至った。中世仏教の一つの帰結となる大きなたたかいであった。

問1 下線部 a に関連する事柄の説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 興福寺の僧兵は奈良法師といわれた。
- イ 後白河法皇は、自分のままならぬものの1つに山法師をあげた。
- ウ 興福寺は石清水八幡宮の神木をささげて強訴した。
- エ 延暦寺は北野天満宮の神輿をかついで強訴した。
- オ 上級僧侶を中心として僧兵が組織され、強訴の先頭に立った。

問2 空欄1に該当する人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 円珍      イ 円仁      ウ 慈円      エ 源信      オ 西行

問3 下線部 b に関連する事柄の説明として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 源平の争乱の際、南都の諸寺が平重盛によって焼かれた。
- イ 重源は東大寺再建にあたり、元から来た陳和卿の協力を得た。
- ウ 東大寺南大門の建築には、大仏様の技術が用いられた。
- エ 南都復興にあたり、奈良仏師運慶・快慶父子が活躍した。
- オ 長門国が東大寺の造営料国とされた。

問4 下線部 c に関連し、鎌倉時代の仏教の説明として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 法相宗の貞慶は戒律を尊重した。
- イ 俊芿は京都に高山寺をひらいた。
- ウ 忍性は奈良に北山十八間戸を設置した。
- エ 日蓮は鎌倉幕府によって迫害を受けた。
- オ 一遍は諸国を遍歴して遊行上人といわれた。

問5 下線部 d ではなかった人物は誰か，1 人選べ。もし該当するものがなければ，力をマークせよ。

ア 如拙      イ 義堂周信      ウ 周文      エ 絶海中津      オ 明兆

問6 空欄 2 に該当する語句は何か，1 つ選べ。もし該当するものがなければ，力をマークせよ。

ア 百姓      イ 民衆      ウ 侍      エ 坊主      オ 門徒

問7 下線部 e に関連する事柄の説明として誤っているものはどれか，1 つ選べ。

- ア 蓮如は御文を用いて布教した。
- イ 日親は他の宗派を激しく論難した。
- ウ 禅宗では林下が発展した。
- エ 山科本願寺は山門などに焼き打ちされた。
- オ 天文法華の乱で一向一揆が京都を焼いた。

問8 下線部 f が行った事柄Ⅰ～Ⅲを古い順から並べたとき，正しい組み合わせはどれか，1 つ選べ。

- Ⅰ 比叡山延暦寺を焼き打ちした。
  - Ⅱ 安土宗論で日蓮宗を負けとした。
  - Ⅲ 伊勢長島一向一揆を壊滅させた。
- ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ      イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ      ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ  
エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ      オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ      カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

Ⅲ 次の文章および史料A・Bを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、設問のない空欄もある。

江戸時代中期になると、学問・思想の分野では新しい動きが見られるようになった。18世紀初め頃には、生活から生まれた倫理を説く思想があらわれた。史料Aは心学をとらえた 1 の著書である 2 の一節である。

史料A 四民（注1）ヲ治メ玉フハ君ノ職ナリ。君ヲ相ルハ四民ノ職分ナリ。士ハ元来位アル（注2）臣ナリ。農人ハ草莽（注3）ノ臣ナリ。商工ハ市井（注4）ノ臣ナリ。（中略）商人ノ売買スルハ天下ノ相ナリ。細工人（注5）ニ作料（注6）ヲ給ルハ工ノ禄ナリ。農人ニ作間（注7）ヲ下サルルコトハ、是モ士ノ禄ニ同ジ。天下万民産業ナクシテ、何ヲ以テ立ツベキヤ。商人ノ買利（注8）モ天下御免シノ禄ナリ。夫ヲ汝独、売買ノ利バカリヲ慾心ニテ道ナシト云ヒ、商人ヲ悪ンデ断絶セントス。何以テ商人許リヲ賤シメ嫌フコトゾヤ。

（注1）士農工商                      （注2）身分のある                      （注3）民間、在野                      （注4）町中                      （注5）職人  
（注6）製作料、工賃                      （注7）耕作料                      （注8）利益

この頃から藩校や郷校が各地にたてられ、学問や教育が普及していった。その結果、3 の広瀬淡窓がひらいた 4 などをはじめとして、地域独自の教育がみられるようになる。一方、江戸時代中期には、幕藩体制の動揺が見え始めたことなどから社会を批判する動きがあった。史料Bは 5 が著した 6 の一節である。

史料B 山里ニ少ク不足モ無ク、海浜ニ過不足モ無ク、<sup>かしこ</sup>富モ無ク、<sup>まずしき</sup>此ニ貧モ無ク、<sup>かみ</sup>此ニ上モ無ク、<sup>しも</sup>彼ニ下モ無ク、（中略）上無レバ下ヲ責メ取ル奢欲モ無ク、下無レバ上ニ諂ヒ巧ムコトモ無シ、（中略）<sup>おのおの</sup>各耕シ子ヲ育テ、<sup>さか</sup>子壮ニナリ、能ク耕シテ親ヲ養ヒ子ヲ育テ、一人之ヲ為レバ万々人之ヲ為テ、<sup>むさば</sup>貪リ取ル者無ケレバ貪ラルル者モ無ク、<sup>てんち</sup>転定（注1）モ人倫モ別ツコト無ク、転生ズレバ人倫耕シ、此ノ外一点ノ私事無シ。是レ 7 ノ世ノ有様ナリ。

（注1）天地

この書物は幕府を支える封建体制を鋭く批判するものであった。また、5 が亡くなる前後には、8 が京都で公家たちに天皇を崇敬する尊王論を説いて追放される事件が起き、江戸では幕府の腐敗を攻撃して尊王論を説いた 9 が処刑されている。こうした尊王論は幕府の政治を否定する思想に発展していった。

問1 空欄1・2に該当する人名と書名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 石田梅岩・夢の代              イ 石田梅岩・都鄙問答              ウ 手島堵庵・国意考  
エ 手島堵庵・夢の代              オ 中沢道二・都鄙問答              カ 中沢道二・国意考

問2 史料Aに関連する説明として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 商業活動の正当性と正直・孝行・儉約などを説いた。  
イ 儒教道徳に仏教や神道の教えを加味した倫理を説いた。  
ウ 合理主義の立場から、儒教・神道に疑問の目を向けた。  
エ 京都の町人の学者によって創始された思想である。  
オ 大坂の懷徳堂に学んだ町人学者により始められた思想である。  
カ 各地にこの思想を説く講舎がたてられて普及した。

問3 空欄3に該当する地名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 長崎              イ 日田              ウ 熊本              エ 鹿児島              オ 岡山

問4 空欄4に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 閑谷学校      イ 弘道館      ウ 適々斎塾      エ 咸宜園      オ 芝蘭堂

問5 空欄6に該当する書名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 山陵志      イ 柳子新論      ウ 出定後語      エ 農政本論      オ 経世秘策

問6 空欄7に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 君子      イ 凡夫      ウ 自然      エ 尊王      オ 誠ノ道

問7 史料Bに関連して、誤っているものを2つ選べ。

- ア 万人が耕作して生活する世を理想とした。
- イ 武士が農民から搾取する身分社会を批判した。
- ウ 聖人は自らの利益のために法や制度を作ったとした。
- エ 日本古代の古典研究をすすめ、外来思想を否定した。
- オ 朱子学による尊王斥覇の大義名分論を説いた。
- カ 人間本来のままの平和な生活を送ることを主張した。

問8 空欄8・9に該当する人名として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 8 竹内式部    ・9 山県大弼      イ 8 山県大弼・9 竹内式部  
ウ 8 高山彦九郎・9 蒲生君平      エ 8 蒲生君平・9 高山彦九郎  
オ 8 頼山陽      ・9 藤田東湖      カ 8 藤田東湖・9 頼山陽

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

20世紀初頭のヨーロッパでは、ドイツ・オーストリア・イタリアの三国同盟とイギリス・フランス・ロシアの三国協商の対立が激化し、日本は日英同盟協約および日露協約<sup>a</sup>の關係上、三国協商の側に立った。第一次世界大戦が勃発すると、日本の1内閣は日英同盟協約を理由にして連合国側に加わり、ドイツに宣戦布告してドイツの租借地やドイツ領<sup>b</sup>を攻撃して占領した。さらに、大戦中にロシア革命がおり、ロマノフ王朝が崩壊して社会主義国家のソヴィエト政権が成立したが、日本の2内閣は、アメリカ・イギリス・フランスとともにシベリア出兵<sup>c</sup>を行なった。

こうした第一次世界大戦やシベリア出兵は日本の社会に多くの影響を与えた。第一次世界大戦が起こると、慢性的な不況であった日本の経済は、大戦景気という好景気を迎えた<sup>d</sup>。しかしながら、急速な経済発展はさまざまな矛盾を国民生活にもたらすことになる。シベリア出兵を当て込んだ3の投機的買占めが横行すると、抗議行動に端を発した暴動が全国に広がり、2内閣は総辞職した。

この頃には社会運動が盛んになっていった。鈴木文治により結成された4が労働組合の全国組織に発展して日本労働総同盟となり、キリスト教社会主義者であった5らによって小作人組合の全国組織である日本農民組合が結成された。一方、普通選挙権の獲得を求める運動も盛んになり、6内閣は普通選挙法を成立させたが、国民の政治活動を規制する治安維持法<sup>e</sup>も同時に定めた。

問1 空欄1に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 第1次大隈重信                      イ 第2次大隈重信                      ウ 第1次山本権兵衛  
エ 第1次西園寺公望                      オ 第2次西園寺公望

問2 下線部aに関して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 日英同盟協約は、日露戦争前に締結され、ポーツマス条約調印の年に改定された。  
イ 日英同盟協約では、一方が他国と交戦時には中立、第三国の介入時には参戦するとした。  
ウ 日英同盟協約では、日本およびイギリスが韓国にもつ利益を相互に認めた。  
エ 日露協約は、日英同盟協約締結と同様に日露戦争前に締結され、その後改定された。  
オ 日露協約では、日本・ロシアの満州・内蒙古における勢力圏の確認などが行われた。  
カ 日英同盟協約および日露協約を背景に、日本は満州の権益を国際社会で承認させた。

問3 下線部bに該当する地名はどれか、2つ選べ。

- ア 山東省                                  イ 福建省                                  ウ 樺太  
エ インドシナ半島                      オ 赤道以北のドイツ領南洋諸島                      カ ジャワ島

問4 空欄2に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 第4次伊藤博文                      イ 第2次山県有朋                      ウ 第2次山本権兵衛  
エ 寺内正毅                              オ 高橋是清

問5 下線部cに関して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア アメリカがシベリアにいたチェコ軍救援を提唱したことを受けて行われた。  
イ ニコラエフスクで日本軍・居留民がパルチザンに包囲され、殺害される事件が起きた。  
ウ 出兵には多額の戦費が費やされ、多くの死者と負傷者を出す結果となった。  
エ 第一次世界大戦後に各国は撤兵したが、日本の駐兵は長期に及んだ。  
オ 日本軍は、一時はシベリア・北満州を越えてロシア西部にまで進出した。  
カ 日本はソヴィエト政権からシベリアの鉄道敷設権などの権益を獲得した。

問6 下線部dに関して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 戦争のために、ヨーロッパ列強がアジア市場から撤退したことによる。
- イ アジア市場向けの綿布などの輸出の拡大によって、繊維産業などの軽工業が発展した。
- ウ 世界的な船舶不足から造船業や海運業などが発展し、世界第1位の海運国になった。
- エ 重化学工業生産額が軽工業生産額を初めて上まわり、日本の産業の基礎が築かれた。
- オ ドイツからの薬品・染料・肥料などの輸入が止まり、化学工業の発展がみられた。
- カ 鉄鋼業では、八幡製鉄所が拡張され、満鉄の鞍山製鉄所や民間会社が設立された。

問7 空欄3に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 木材                      イ 米                      ウ 綿糸                      エ 小麦                      オ 石炭

問8 空欄4・5に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 黎明会・森戸辰男                      イ 黎明会・山川均                      ウ 友愛会・賀川豊彦
- エ 友愛会・森戸辰男                      オ 日本社会主義同盟・山川均                      カ 日本社会主義同盟・賀川豊彦

問9 空欄6に該当する語句として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 第1次加藤高明                      イ 第2次加藤高明                      ウ 原敬                      エ 若槻礼次郎                      オ 加藤友三郎

問10 下線部eに関連して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 日ソ国交樹立による共産主義の広がりを防ぐ目的があった。
- イ 国体の変革を目的とする結社の組織者、参加者の処罰を定めた。
- ウ 私有財産制度の否認を目的とする結社の組織者、参加者の処罰を定めた。
- エ 昭和初期の治安維持法の改正は、普通選挙制による最初の総選挙の年に行われた。
- オ 昭和初期の治安維持法の改正により、死刑を含む処罰の規定が廃止された。
- カ 東条英機内閣のとき、北部仏印進駐のあった年に治安維持法の改正が行われた。

V 次の文章および史料A・B・Cを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、設問のない空欄もある。

古代以降近代にいたるまで、外国人が書き残した日本列島に関する記録は多い。原始・古代には、中国の史書のなかに日本列島に関する記述が見られる。史料Aは、『隋書』に記された倭国からの遣隋使の記事である。

史料A 大業三年（注1）、其の王多利思比孤<sup>たろしひこ</sup>、使を遣はして朝貢す。使者曰く、「聞くならく、海西の菩薩天子<sup>a</sup>重ねて仏法を興すと。故、遣して朝拝せしめ、兼ねて沙門<sup>しあもん</sup>（注2）十人、来りて仏法を学ぶ」と。（中略）明年、上、文林郎 1 を遣して倭国に使せしむ。  
（注1）607年 （注2）僧侶

古代から中世の外国人による日本の記録のほとんどは、中国・朝鮮をはじめとするアジア人によるものであった。史料Bは、15世紀初めに日本を訪れた朝鮮<sup>b</sup>の回礼使宋希璟<sup>c</sup>の「老松堂日本行録」の一節である。

史料B 門を作る。朴加大（博多）本城なく、岐路、皆、通ず。夜夜、賊起りて人を殺すも、追捕するものなし。余の来るや、探提（注1）、代官伊東殿をして、里巷<sup>りきやう</sup>（注2）の岐路に、皆門を作らしめ、夜には則ち、これを閉ず。居るところの倭、男女老少と僧尼、倭が行を見んことを求め、日日、庭に盈<sup>あふ</sup>つる者、多くは、剣を執り、刀を佩<sup>は</sup>く。余、未だ、内に懼<sup>おそ</sup>れを免れず。  
（注1）九州探題 （注2）路地

史料Cは、明治時代の外国人教師の一人であった、ドイツ人内科医 2 の日記である。2 は明治政府に招かれて来日し、帝国大学教授や宮内省御用掛として皇族の診療なども行なった。

史料C 二月九日 東京全市は十一日の憲法発布をひかえてその準備のため、言語に絶した騒ぎを演じている。到るところの奉祝門・照<sup>ほうしゅくもん</sup>明<sup>い</sup>・行列<sup>いれぎ</sup>の計画。だが、滑稽なことには誰も憲法の内容をご存じないのだ。  
二月十六日 日本憲法が発表された。もともと国民に委ねられた自由なるものはほんの僅かである。しかしながら不思議なことにも、以前は「奴隷化された」ドイツの国民以上の自由を与えようとはしないと悲憤慷慨<sup>ひふんこうかい</sup>したあの新聞が、すべて満足の意を表しているのだ。

問1 下線部aに該当する人名として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 煬帝      イ 順帝      ウ 明帝      エ 光武帝      オ 安帝

問2 史料Aに関連して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 『隋書』には「大業三年」以前の遣隋使の記事がある。
- イ 「大業三年」の遣隋使は小野妹子であった。
- ウ 留学生高向玄理は大化改新のときに左大臣になった。
- エ 仏教文化を吸収することは遣隋使の目的ではなかった。
- オ 隋への国書は皇帝に臣属しない形式をとっていた。
- カ 6世紀末に隋が中国を統一し、高句麗に進出する状況があった。

問3 下線部 b と日本との貿易に関連して、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 李成桂が建てた朝鮮は日本に倭寇の禁止と通交を求めた。
- イ 朝鮮からの主な輸入品は織物類で、とくに木綿は大量に輸入された。
- ウ 日本からの主な輸出品は、銅・硫黄や工芸品、琉球の蘇木・香木などであった。
- エ 朝鮮は対馬の宗氏を通じての通交制度を定めて貿易を統制した。
- オ 幕府に限定され、守護・国人などは参加しなかった。

問4 下線部 c が関わった外交交渉の案件として、該当するものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 寧波の乱            イ 応永の外寇            ウ 癸亥約条            エ 三浦の乱            オ 壬申約条

問5 史料Bに関連して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 博多は日明貿易の根拠地として栄えた町であった。
- イ 博多商人と結んだ細川氏と、堺商人と結んだ大内氏が対立した。
- ウ 日明貿易の主な輸出品は、刀剣・槍・鎧や扇・屏風、銅・硫黄などであった。
- エ 日明貿易の主な輸入品は、銅銭や生糸・高級織物、陶磁器・書籍・書画などであった。
- オ 將軍足利義持は、朝貢貿易、勘合貿易の形をとった明との貿易を開始した。
- カ 勘合貿易は、実権を握っていた大内氏の滅亡とともに断絶した。

問6 空欄 2 に該当する人名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア シュタイン            イ ロエスレル            ウ ベルツ            エ ホフマン            オ ナウマン

問7 下線部 d に関連して、大日本帝国憲法では法律の範囲内で国民の自由が認められたが、それに該当しないものはどれか、1つ選べ。すべて該当する場合には、力をマークせよ。

- ア 所有権の不可侵            イ 信教の自由            ウ 言論・出版の自由
- エ 集会・結社の自由            オ 抵抗権・革命権

問8 下線部 e は自由民権運動が盛んだった時期のことを指すが、この時期に作成された私擬憲法に関して、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 福沢諭吉系の交詢社は「私擬憲法案」を作成した。
- イ 「私擬憲法案」は、大統領制と国务大臣連帯責任制を定めた。
- ウ 板垣退助が設立した立志社は「日本憲法見込案」を作成した。
- エ 「日本憲法見込案」は、二院制を定めた穏健なものであった。
- オ 植木枝盛の「東洋大日本国国憲按」は、人権保障、一院制を認めた急進的なものであった。
- カ 東京近郊の五日市で活動していた豪農の民権家たちは「五日市憲法草案」を作成した。

〔以下 余 白〕

